

件名) 令和 6 年度 新潟管理事務所管内融雪用燃料購入

仕 様 書

令和 6 年 1 0 月

東日本高速道路株式会社

新潟支社 新潟管理事務所

第一章 一般事項

1. 適用

本仕様書は、東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所（以下、発注者という）に納入する融雪設備及び自家発電設備への燃料（以下「燃料」という）の購入契約に適用する。

2. 契約概要

件 名	令和6年度 新潟管理事務所管内融雪用燃料購入
契約期間	契約締結日の翌日から令和7年4月30日まで
契約項目	A重油
予定給油数量	95,000リットル
作業内容	燃料給油

3. 適用諸基準

本契約に係る燃料の適用基準は、日本工業規格（JIS 規格）による。

4. 提出書類について

受注者（当契約を受注した者。以下同じ）は、「搬出計画書」（様式第1号）及び「年末年始の給油体制」（様式第2号）を書面にて発注者に提出しなければならない。

なお、搬出計画書には、下記事項を記載するものとする。

- ・燃料配送時の注意事項
- ・燃料給油作業手順
- ・燃料配送の緊急連絡先

5. 責任者の設置について

受注者は契約を履行するため、受注者の指定する者のうちから責任者を定め、仕様書に定めるところにより、様式第3号に示すとおり、氏名その他必要な事項を発注者に通知しなければならない。また、これらを変更した時も同様とする。

なお、責任者は契約の履行に関し、受注者に代わって発注者の指示、連絡を受ける任務にあたり、責任をもって契約を履行するものとする。

責任者は、融雪設備及び自家発電設備に燃料を納入する際、現場で立ち会うものとする。

6. 作業用車両の有料道路乗り入れ

発注者が、作業に際し必要があると認める場合は、業務用プレート等を交付することがある。受注者は、業務用プレート等の交付を申請する場合には、業務用プレート等交付申請書を作成し発注者に申請する。受注者は、業務用プレート等を適正に使用し、適正に保管するとともに、作業の履行以外の目的に使用してはならない。なお、作業の履行中においても発注者が業務用プレート等の返納を求めた場合には、直ちに返納しなければならない。

業務用プレート発行路線	業務用プレート発行区間
北陸自動車道	三条燕 I C～新潟中央 J C T
磐越自動車道	津川 I C～新潟中央 I C
日本海東北自動車道	新潟中央 J C T～中条 I C

有料道路内の管理用通路を通行する全ての車両は、黄色回転灯を装着するものとし、これは受注者にて必要個数を用意する。

黄色回転灯の点灯及び融雪設備及び自家発電設備への各施設への進入・退出時の注意事項について発注者と受注者で協議し交通事故防止に努めること。

7. 契約単価について

契約単価には、運搬や給油、責任者の現場立会などにかかる全ての費用を含むものとする。

8. 契約単価の変更について

契約書第8条に規定する「異常の事由」とならない通常の契約単価の変更については、以下に示す方法に協議するものとする。

契約締結日の月末までは契約当初の単価（以下「当初単価」）とする。契約締結日の翌月以降の単価については、毎月、以下の算出式により X' を算出し、現在の契約単価と比べて1 円以上（消費税抜き）の差額が生じる場合で、発注者又は受注者より様式第4号にて協議があった場合は、変更契約を行うものとする。

$$X' = X + (Y' - Y)$$

X：現在の契約単価(単位は、円／リットル、消費税抜き、小数点以下第2位を四捨五入)

X'：変更後の契約単価(単位は、円／リットル、消費税抜き、小数点以下第2位を四捨五入)

Y：現在の契約単価決定時の調査単価(単位は、円／リットル、消費税抜き、小数点以下第2位を四捨五入)

Y'：変更契約時の調査単価(単位は、円／リットル、消費税抜き、小数点以下第2位を四捨五入)

上記の算出式に用いる調査単価は、経済産業省資源エネルギー庁ホームページ

(http://www.enecho.meti.go.jp/statistics/petroleum_and_lpgas/pl007/results.html)

に記載される「石油製品価格調査」に基づく月次調査による。なお、採用する単価条件は下表の通りとする。

項目	受渡／納入	適用地区	備考
A重油	小型ローリー	関東	公表結果(前月末)に基づき当該月単価を比較

9. 予定数量

予定数量は、過年度実績（令和元年度を除いた5か年平均値）に基づき算出した購入見込数量であり、購入数量を保証するものではない。また、購入数量の増減に応じた契約単価の変更は行わないものとする。

10. 代金の支払い

受注者は、当該物品の代金の支払いを月ごとにとりまとめ、発注者に対し書面により翌月10日までに請求するものとする。

料金その他の計算における合計金額の単位は1円とし、その端数は小数点以下を切り捨てるものとする。

第二章 給油に関する事項

1. 給油対象燃料の名称

A重油

2. 給油対象燃料の規格

JIS 1種1号により、重油硫黄分0.5%以下のA重油とする。

「以下、A重油[LSA]という。」

受注者は、燃料がこれらの規格を満たしていることを証明する「試験成績表（代表性状）」を発注者に提出しなければならない。その様式は特に指定しない。「試験成績表（代表性状）」を提出した後は、証明書に記した燃料（上に示す燃料）を常に使用するものとする。

なお、試験成績表は、契約時から初回納入前までの間に提出するものとするが、その他適宜提出を求めることがある。また発注者は、発注者の責により成分分析検査を行う場合がある。

3. 納入場所

納入場所は、別表-1「A重油[LSA]納入場所一覧表」に記載のとおり。

4. 納入依頼・納入報告

納入依頼は、発注者から受注者へ 融雪用A重油[LSA]給油依頼書（様式第5号）にて電子メールもしくはFAXにて行うものとするが、送受信確認方法については発注者と受注者による事前協議をもって取り決めるものとする。

受注者は、発注者からの納入依頼を受領した場合は、受領後48時間以内に指示のあった箇所への給油を行うものとする。

受注者は、指示を受けた納入先への納入日時が決まった場合は、発注者へ納入日時を報告し危険物取扱者の立ち合いのもと納入を行うものとする。

なお、単独荷卸しについて、発注者及び受注者において事前に安全対策について協議を行い、実施を取り決める。

納入依頼を受領後、受注者の責によることのない事象により 48 時間以内の納入が困難な場合は、事前に発注者に連絡し承諾を得るものとする。

年末年始を除き、発注者から受注者への納入依頼は、原則受注者の営業時間内に行うものとするが、異常降雪などにより、やむを得ず受注者の営業時間外に燃料配送の緊急連絡先へ依頼を行う場合がある。

受注者は給油完了後、速やかに様式第 6 号により納入先の給油量を発注者に報告するものとする。また、施設タンクとローリータンクの給油前後のメーター写真においては、納入日時を証明する日付情報を付与するものとする。

なお、石油メーカー直送大口用ローリーなど、メーターのない場合の確認方法は、別途協議するものとする。

5. 燃料配送場所詳細図

各配送先の地下タンク位置を、別表-2『地下タンク設置位置図』にて示す。

6. 融雪設備及び自家発電設備給油口

融雪設備用地下タンク給油口	2.5 インチ（外ねじ）
自家発電設備用サービスタンク給油口	2 インチ（外ねじ）

7. トンネル融雪設備周辺の堆雪対応

降雪量によっては、トンネル融雪設備周辺が堆雪により近寄れない状況となることがあるため 15～20m の給油用ホースを用いての給油となる場合がある。

第三章 その他事項

1. 契約書第 5 条第 1 項に規定する「発注者の指定する者」とは、施設担当課長及び施設担当社員とする。
2. 契約書第 10 条第 1 項に規定する通知は、様式第 7 号をもって提出することとする。

以上

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 新潟支社
新潟管理事務所 施設担当課長 殿

会社名
代表者 印

搬出計画書（記載例）

件 名）令和 6 年度 新潟管理事務所管内融雪用燃料購入

搬出計画書について、下記の通り提出する。

1．燃料配送時の注意事項について

記載例）高速道路上を走行する場合の注意事項
法定速度を遵守し、走行速度に応じた車間距離の確保を行い走行する。
進路を変更する際は、前後左右の安全確認を行い余裕をもって進路変更を行う。
また、カーブのある場所やトンネル内での車線変更はできるだけ避ける。
雨や雪で路面が滑りやすくなっているときは、急ハンドル急加速急ブレーキなどの急の付く動作は行わない。
霧や降雨、降雪による視界不良の場合は、前照灯を点灯させ自車の所在を知らせるとともに、走行速度に応じた車間距離を取り、前方走行車両の挙動に注意を払い走行する。
トンネル融雪施設へ入場する場合は、目的地手前約 1 k m 付近より、黄色回転灯を点灯させ、目的地約 3 0 0 m 付近よりハザードを点灯させ後続車に注意を喚起をした後、速度を落とし目的地手前でハザードから方向指示ウィンカーに切り替えて入場する。

2．燃料給油作業手順について

工程・作業内容	手順	注意点
注油開始前作業	① 給油施設に停車（車止め） ② 施設タンク残量確認 ③ . . .	接触事故に注意 メーターを写真に撮る
注油作業	① ローリータンク内残量確認 ② 注油 ③ . . .	メーターを写真に撮る 漏れの有無を確認

注油終了後作業	① ローリータンク内残量確認 ② 施設タンク残量確認 ③ . . .	メーターを写真に撮る メーターを写真に撮る
報告	残油確認後、ファイル及び提出用 残油確認票に数量を記入 納品書、給油報告書、写真データ を発注者に提出	

3. 燃料配送の緊急連絡先について

氏 名	電 話 番 号	F A X 番 号

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 新潟支社
新潟管理事務所 施設担当課長 殿

会社名
代表者 印

年 末 年 始 の 給 油 体 制

件 名) 令和 6 年度 新潟管理事務所管内融雪用燃料購入

年末年始の給油体制については、下記に示すとおりとする。

記

日 付	給油依頼受付時間	依頼受付先
令和 6 年 1 2 月 2 8 日 (土)		
1 2 月 2 9 日 (日)		
1 2 月 3 0 日 (月)		
1 2 月 3 1 日 (火)		
令和 7 年 1 月 1 日 (水)		
1 月 2 日 (木)		
1 月 3 日 (金)		
1 月 4 日 (土)		
1 月 5 日 (日)		

以上

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 新潟支社
新潟管理事務所 施設担当課長 殿

会社名
代表者 印

責任者の通知について

件 名) 令和6年度 新潟管理事務所管内融雪用燃料購入

仕様書 第一章5項の規定に基づき責任者の氏名について、下記のとおり通知する。

記

責 任 者 氏名 ○○ ○○

以 上

令和 年 月 日

(会社名)
(代表者) 殿

(会社名)
(代表者) 印

契約単価協議書 ○月分

件 名) 令和 6 年度 新潟管理事務所管内融雪用燃料購入

仕様書 第一章 8 項に規定する契約単価の変更について、下記のとおり協議する。

記

- ① 現在の契約単価

_____円／ℓ (消費税抜)
- ② 現在の契約単価決定時の調査単価

_____円／ℓ (消費税抜)
- ③ 変更契約時の調査単価

_____円／ℓ (消費税抜)
- 月契約単価【①＋(③－②)】

_____円／ℓ (消費税抜)

以 上

株式会社 ○○
○○ 様

東日本高速道路株式会社 新潟支社
新潟管理事務所 施設
担当者 ○○

融雪用 A 重油 [LSA] 給油依頼書

下表に記載された給油を依頼いたします。

日本海東北自動車道（記載例）

給油依頼施設	タンク容量[ℓ]	令和○年○月○日 タンク内残油量[ℓ]	給油依頼数量[ℓ]
豊栄 S A (上り線)	1,900		
豊栄新潟東港 I C	3,000		
新潟空港 I C	4,000		
計			

磐越自動車道（記載例）

給油依頼施設	タンク容量[ℓ]	令和○年○月○日 タンク内残油量[ℓ]	給油依頼数量[ℓ]
津川 I C	4,000		
焼山 T N (上り線)	4,000		
三川 I C	4,000		
吉津 T N (上り線)	5,000		
小松 T N (下り線)	3,000		
宝珠山 (上り線)	3,000		
計			

納入についての注意事項

- ・給油依頼数量は残油計読み取りによる補充量ですので実際の給油量は増減いたします。
- ・給油にあつては、満タン給油をお願い致します。
- ・豊栄 S A 上り線は、14時から15時及び16時から17時の間、停電により融雪設備が停止しますので残量計の確認ができません。上記以外の時間帯で給油をお願いします。

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 新潟支社
新潟管理事務所 施設担当課長 殿

会社名
責任者 印

給 油 報 告

件 名) 令和 6 年度 新潟管理事務所管内融雪用燃料購入

給油について、下記のとおり報告する。

1. 給油実施日

令和 年 月 日 ()

2. 各施設への給油量

納入施設	給油前油量(ℓ)	給油量(ℓ)	給油後油量(ℓ)	給油時間
				〇〇:〇〇 ~ 〇〇:〇〇
				〇〇:〇〇 ~ 〇〇:〇〇
				〇〇:〇〇 ~ 〇〇:〇〇

3. 給油確認写真

納入施設	給 油 前		給 油 後	
	液面指示計	ローリーメーター	液面指示計	ローリーメーター
〇〇〇				
〇〇〇				

納 品 書

※ 納品書を貼り付けること。

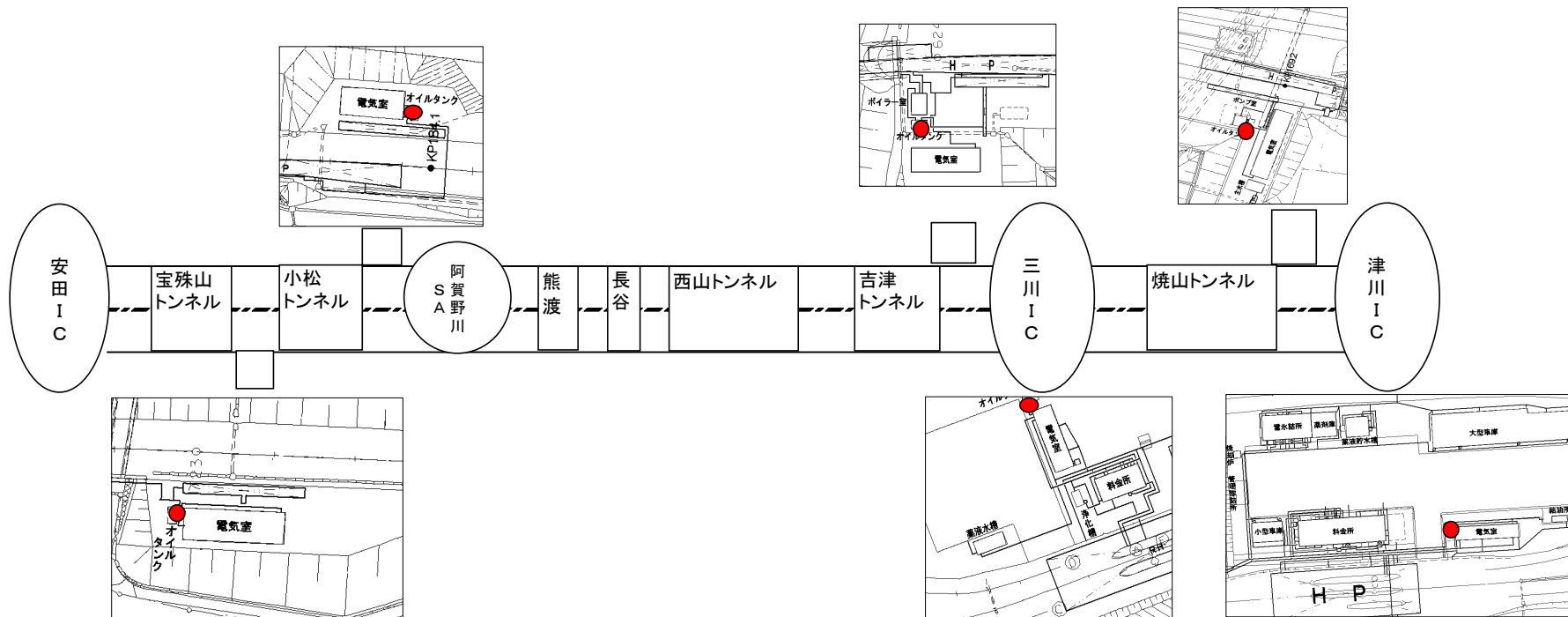
A 重油納入場所一覧表

東日本高速道路株式会社 新潟管理事務所

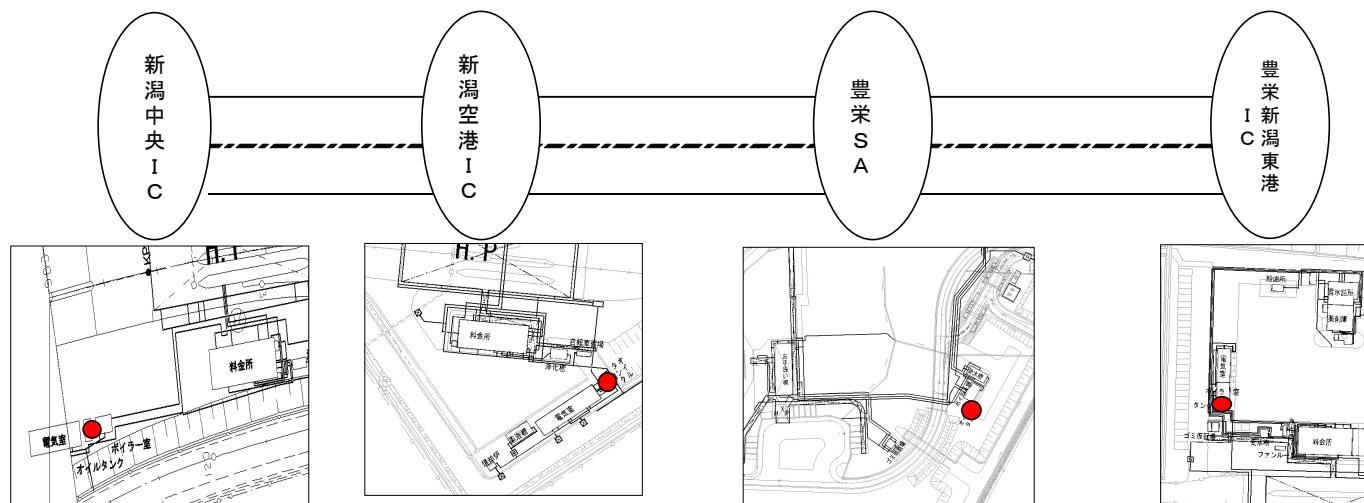
No	納入場所		所在地	融雪設備	槽容量 (ℓ)	自家発電 設備	槽容量 (ℓ)
1	北陸自動車道	三条燕 I C	新潟県燕市小高字曾根先 6 2 5 0		—	○	900
2	北陸自動車道	巻潟東 I C	新潟県新潟市西蒲区漆山 7 8 8 4－2		—	○	700
3	北陸自動車道	新潟西第一 I C	新潟県新潟市西区北場 1 0 0 5		—	○	600
4	北陸自動車道	新潟西第二 I C	新潟県新潟市西区立仏 1 5 3 0		—	○	390
5	日本海東北自動車道	新潟亀田 I C	新潟県新潟市江南区亀田早通 3 2 3 3		—	○	4, 000
6	日本海東北自動車道	新潟亀田 I C	新潟県新潟市江南区亀田早通 3 2 3 3 (管制センター)		—	○	8, 000
7	日本海東北自動車道	新潟空港 I C	新潟県新潟市江南区江口 5 7 0－1	○	4, 000		900
8	日本海東北自動車道	豊栄 S A (上り線)	新潟県新潟市北区森下字木花 7 6 8	○	1, 900		—
9	日本海東北自動車道	豊栄新潟東港 I C	新潟県新潟市北区横井 6 2 3	○	3, 000		390
10	日本海東北自動車道	聖籠新発田 I C	新潟県北蒲原郡聖籠町大字大夫字村前 2 3 6		—	○	600
11	日本海東北自動車道	中条 I C	新潟県胎内市弥彦岡字福田 3 4 0		—	○	1, 500
12	磐越自動車道	新潟中央 I C	新潟県新潟市江南区久蔵興野 9 9－1	○	5, 000		390
13	磐越自動車道	宝珠山トンネル	新潟県阿賀野市草水字東山下 8 2 8	○	3, 000		390
14	磐越自動車道	小松トンネル	新潟県阿賀野市小松字眠田沢 5 7 3 2－1	○	3, 000		—
15	磐越自動車道	三川 I C	新潟県東蒲原郡阿賀町谷沢 4 2 7 6	○	4, 000		390
16	磐越自動車道	西山トンネル	新潟県東蒲原郡阿賀町五十島字小赤沢 3 3 9 7－2		—	○	900
17	磐越自動車道	吉津トンネル	新潟県東蒲原郡阿賀町五十島字入谷沢道 4 5 9 5	○	5, 000		390
18	磐越自動車道	焼山トンネル	新潟県東蒲原郡阿賀町西字現明地嶽 3 5 9 1	○	4, 000		390
19	磐越自動車道	津川 I C	新潟県東蒲原郡阿賀町津川字新田尻 1 5 7 7	○	4, 000		—

※ 融雪設備用地下タンクは自家発電設備向けの貯蔵も担っている。

磐越自動車道 津川IC～安田IC 融雪用地下タンク設置位置図



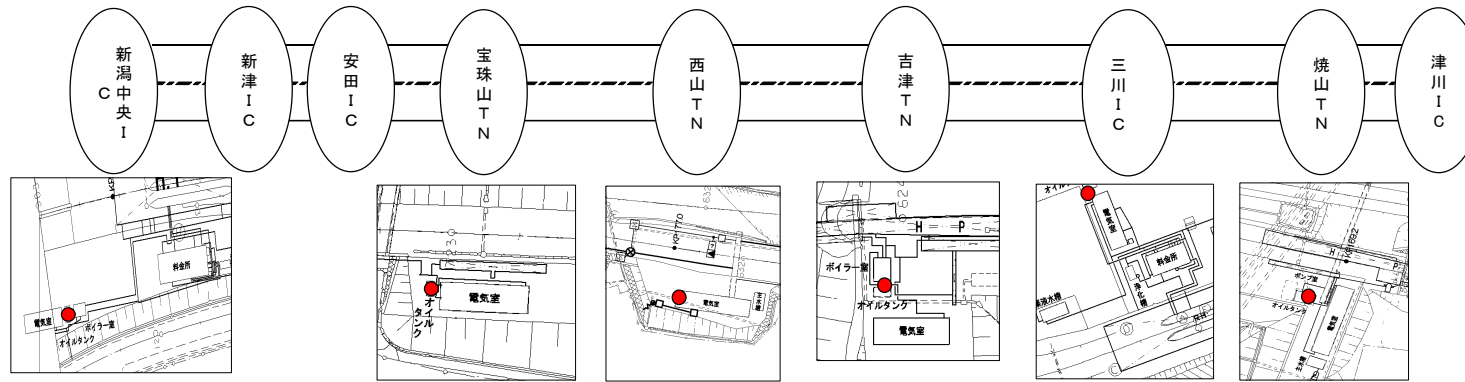
日本海東北自動車道 新潟中央IC～豊栄新潟東港IC 融雪用地下タンク設置位置図



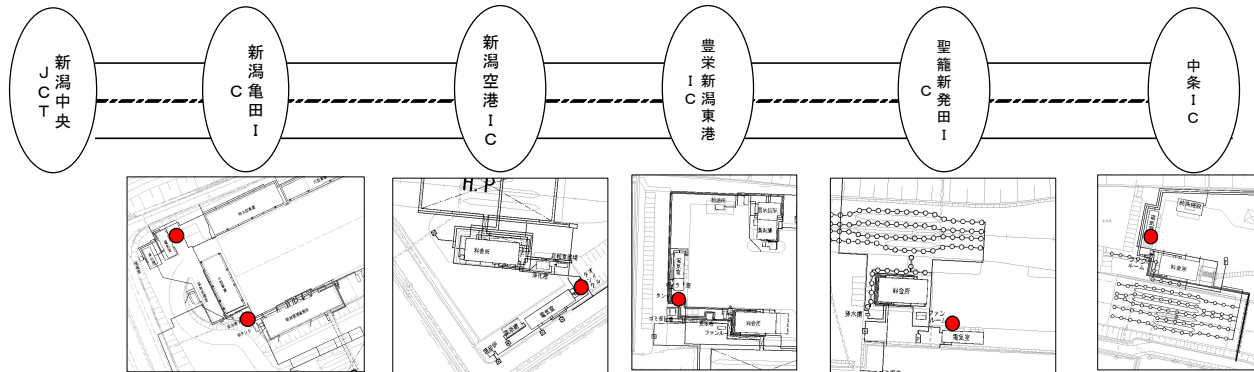
地下タンク設置位置図

● : 給油地点

磐越自動車道 津川IC～新潟中央IC 自家発電設備用タンク設置位置図



日本海東北自動車道 新潟中央JCT～中条IC 自家発電設備用タンク設置位置図



北陸自動車道 三条燕IC～新潟西第二IC 自家発電設備用タンク設置位置図

